教育目標　　進んで学ぶ子　なかよくする子　たくましい子

学校だより

新潟市立中之口東小学校 2023.12.22
第３７０ 号　児童数１０８名
ホームページ　http://www.kiranico.

つながりがつくる ふるさとの味

校長　林　なおみ

中之口東小学校区に，「まめてん」で知られる「大橋食品製造所」があります。２年生の生活科や，６年生の総合的な学習で，子どもたちの学習に協力していただいています。２年生は，大橋食品製造所で「まめてん」の作業工程を見学して，素材を大切にしていることや，すべて手作りであることを知り，身近なお菓子「まめてん」の秘密を学びました。６年生は，生まれ育った中之口の魅力の一つとして，「おいしいお菓子」を挙げ，地域内外の人にアピールする動画を作りました。

大橋食品製造所の創業は昭和 37 年で，前身は豆腐店だったそうです。豆腐店として営業している中，晩御飯のおかずにと，工場にあった大豆をてんぷらのように揚げてみたところ，とてもおいしかった。そこに先代の社長の知り合いで，お菓子について知っている人が加わり，「こういうのを作るとおもしろいね」と，試行錯誤して最初の「まめてん」が誕生しました。大豆のうまみに軽い食感とあっさりとした後味。このおいしさに可能性を感じ，豆腐から「まめてん」製造へシフトして，現在まで 60 年以上続く老舗となりました。

昭和 50 年代，ポテトチップスの味替わり商品が発売されました。その頃「まめてん」は塩だけの素朴な味付けでした。「まめてん」にも新しい味を加えられないかと考えていたところ，シーズニング（粉末調味料）を作る会社が協力してくれることになり，「まめてん カレー味」が登場しました。その後，「こんな味はどうですか」「辛いのもあるといい」などのお客さんの声から，ゆず胡椒，黒胡椒と味を増やしていきました。

子どもたちの心をとらえる「まめてん」は，人と人とのつながりによって生まれ，工夫を重ねながら，ふるさと中之口の味として大切に育まれてきました。

「まめてん」は，お店でも買えますが，大橋食品さんへ直接来て，楽しくおしゃべりしてお気に入りの味を買っていくお客さんも多く，最近では若い方の来店も増えているそうです。大橋さんは，「すべて手作りで作業は大変だけれど，仲間と楽しく仕事をして，作ったもので人を笑顔にする，この仕事が好きです」とおっしゃっていました。

【全て手作りの「まめてん」】
一枚一枚心をこめて作っています

味を開発する中で，作ってみたけれど，あまり人気がなかったのですぐに作るのをやめたのがチーズ味だそうです。幻の「まめてん チーズ味」はどんな味だったのか，気になりますね。

【御礼】本稿執筆に際し，大橋食品製造所様にお話を伺いました。ありがとうございました。